

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第119期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	わかもと製薬株式会社
【英訳名】	WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神谷 信行
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	(03)3279-0371(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	(03)3279-0371
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第118期 第3四半期 累計期間	第119期 第3四半期 累計期間	第118期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	7,295,038	7,784,554	9,927,168
経常利益又は経常損失( )(千円)	4,780	423,276	179,504
四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )(千円)	57,644	242,884	183,344
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	3,395,887	3,395,887	3,395,887
発行済株式総数(千株)	34,838	34,838	34,838
純資産額(千円)	12,127,014	13,211,367	12,638,731
総資産額(千円)	16,780,474	17,743,716	17,552,183
1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )(円)	1.66	6.98	5.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.27	74.46	72.01

回次	第118期 第3四半期 会計期間	第119期 第3四半期 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	5.28	6.83

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の概況

当第3四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼベリン点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド硝子体内注用40mg」および共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズをリニューアルした「アバンビーズDX」シリーズとして「アバンビーズDX歯周病予防」、「アバンビーズDX口臭予防」、「アバンビーズDXダンプランシユ美白」、「アバンビーズDX知覚過敏予防」、「アバンビーズDXコーラル（イプシロン）」の5製品および新発売した「わかもと整腸薬ピナチュラ」の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は77億8千4百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益1億7千8百万円（前年同期は営業損失1億7千5百万円）、経常利益は4億2千3百万円（前年同期は経常損失4百万円）、四半期純利益は2億4千2百万円（前年同期は四半期純損失5千7百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼベリン点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」が減少しましたが、「マキュエイド硝子体内注用40mg」、「オキュバイト」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は43億4千4百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は15億5千1百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

特販事業では、国内向他社受託品が増加し、また輸出用「わかもと」が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は18億8千5百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間における当社の研究開発活動の金額は6億2千7百万円であります。なお、当第3四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,838,325	34,838,325	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ ります。
計	34,838,325	34,838,325	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年10月1 日~ 平成25年12月31日	-	34,838,325	-	3,395,887	-	2,675,826

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 65,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,228,000	34,228	-
単元未満株式	普通株式 545,325	-	-
発行済株式総数	34,838,325	-	-
総株主の議決権	-	34,228	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
わかもと製薬株式会社	中央区日本橋本町二丁目1番6号	65,000	-	65,000	0.18
計	-	65,000	-	65,000	0.18

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第3四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、京橋監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金の項目から見て、当社グループの財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,533,559	2,726,322
受取手形及び売掛金	3,793,239	3,822,532
有価証券	405,995	406,178
商品及び製品	1,374,749	1,240,733
仕掛品	395,302	364,638
原材料及び貯蔵品	511,353	457,924
繰延税金資産	332,523	196,449
その他	142,030	91,753
流動資産合計	9,488,753	9,306,532
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	6,464,961	6,684,896
減価償却累計額	3,642,020	3,827,047
建物(純額)	2,822,940	2,857,848
構築物	272,592	272,589
減価償却累計額	187,264	197,587
構築物(純額)	85,328	75,001
機械及び装置	7,179,602	7,353,954
減価償却累計額	6,195,971	6,401,230
機械及び装置(純額)	983,630	952,724
車両運搬具	39,046	33,301
減価償却累計額	36,097	31,544
車両運搬具(純額)	2,948	1,757
工具、器具及び備品	796,206	812,594
減価償却累計額	729,517	750,694
工具、器具及び備品(純額)	66,688	61,900
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	311,418	382,682
有形固定資産合計	4,614,507	4,673,467
<b>無形固定資産</b>		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	942	853
ソフトウェア	70,588	134,780
ソフトウェア仮勘定	73,781	-
その他	5,943	5,868
無形固定資産合計	451,255	441,502
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,971,059	2,467,677

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
保険積立金	592,805	592,924
関係会社出資金	1,777	-
繰延税金資産	341,164	174,471
その他	90,859	87,140
投資その他の資産合計	2,997,666	3,322,214
固定資産合計	8,063,429	8,437,184
資産合計	17,552,183	17,743,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,387	981,505
短期借入金	332,000	1,035,000
未払法人税等	56,745	16,709
未払消費税等	39,635	12,635
賞与引当金	262,100	97,614
返品調整引当金	13,000	11,000
その他	579,759	727,957
流動負債合計	2,394,628	2,882,422
固定負債		
退職給付引当金	1,406,908	1,412,009
役員退職慰労引当金	9,600	9,600
長期借入金	1,102,000	228,000
その他	316	316
固定負債合計	2,518,824	1,649,925
負債合計	4,913,452	4,532,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,085,089	6,327,974
自己株式	15,956	21,356
株主資本合計	12,140,846	12,378,331
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	497,884	833,035
評価・換算差額等合計	497,884	833,035
純資産合計	12,638,731	13,211,367
負債純資産合計	17,552,183	17,743,716

## ( 2 ) 【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,295,038	7,784,554
売上原価	3,526,801	3,567,292
売上総利益	3,768,237	4,217,261
販売費及び一般管理費	3,943,396	4,038,514
営業利益又は営業損失( )	175,158	178,747
営業外収益		
受取利息	401	443
受取配当金	34,032	36,891
受取地代家賃	19,230	18,714
受取技術料	108,822	133,766
受取補償金	-	46,000
その他	70,805	69,411
営業外収益合計	233,293	305,227
営業外費用		
支払利息	20,903	17,975
固定資産除却損	789	4,197
寄付金	16,421	17,623
その他	24,799	20,901
営業外費用合計	62,914	60,697
経常利益又は経常損失( )	4,780	423,276
特別利益		
固定資産売却益	142,083	139
役員退職慰労引当金戻入額	136,300	-
特別利益合計	278,383	139
特別損失		
固定資産除却損	53,631	-
投資有価証券評価損	158,622	-
関係会社清算損	-	1,777
特別損失合計	212,254	1,777
税引前四半期純利益	61,348	421,639
法人税、住民税及び事業税	12,700	34,800
法人税等調整額	106,293	143,955
法人税等合計	118,993	178,755
四半期純利益又は四半期純損失( )	57,644	242,884

【注記事項】

(追加情報)

当社は、平成25年11月20日開催の取締役会において、下記のとおり本社を移転することを決議いたしました。

1. 新本社所在地  
 東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
2. 移転時期(業務開始日)  
 平成26年4月1日(火)
3. 移転の理由  
 現在本社が入居しているビルが日本橋本町二丁目地区開発計画の対象となったため。
4. 業績に与える影響  
 日本橋本町二丁目地区開発計画に伴う本社移転に伴い、平成26年3月期に特別利益863百万円(移転補償金)並びに特別損失23百万円(固定資産除却損)の計上を見込んでおります。
5. その他  
 新本社所在地は、現所在地と同じ東京都中央区内のため、本社移転に伴う定款の変更はございません。

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
期末日満期手形 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。	四半期会計期間末日満期手形 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。
受取手形 7,993千円 支払手形 50,815千円	受取手形 3,749千円 支払手形 27,139千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	586,985千円	508,147千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

無配のため記載すべき事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

無配のため記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整 額	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,325,957	1,402,450	1,559,103	7,287,511	7,527	7,295,038	-	7,295,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4,325,957	1,402,450	1,559,103	7,287,511	7,527	7,295,038	-	7,295,038
セグメント利益又は 損失( )	219,582	83,605	129,010	174,177	981	175,158	-	175,158

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整 額	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,344,716	1,551,716	1,885,502	7,781,935	2,619	7,784,554	-	7,784,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4,344,716	1,551,716	1,885,502	7,781,935	2,619	7,784,554	-	7,784,554
セグメント利益又は 損失( )	241,679	69,095	348,946	176,363	2,383	178,747	-	178,747

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	1円66銭	6円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	57,644	242,884
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	57,644	242,884
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,790	34,774

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

わかもと製薬株式会社

取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小宮山 司 印

業務執行社員 公認会計士 荒木 勝己 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第119期事業年度の第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。